

2014 春の教育普及プログラム 屋外アトリエワークショップ
「小さな森の植物学教室～自分だけの植物図鑑をつくろう～」の様子



小雨が降ったり止んだりする春の日、造園家で樹木医でもある清右衛門さんをお招きして、美術館の周りに生息する植物の動きや形を観察して、自分だけの植物図鑑を作りました。美術館のある茅ヶ崎の地形や地質ついでの話から入り、普段は目にとめない小さな植物たちをじっくり観察しました。他の植物の上を這うように成長する植物や、いらなくなった枝を自ら落とす樹や、大きな虫こぶとともに共生しているイスノキなど、植物たちが生存するために様々な智恵を使って生きていることを学ぶ一日でした。懇談会では、美術館の2階にあるサンカフェさんがこのワークショップのために作ったオリジナルケーキを美味しくいただきながら、参加者の皆さんは清右衛門さんとのおしゃべりを楽しみました。

- 実施日 平成 26 年 4 月 18 日 (金) ①10:00～12:00、②14:00～16:00
- 講師 清右衛門 (造園家、樹木医)
- 対象 18 歳以上の方
- 参加者 ① 5 名、② 4 名



高砂緑地の植物観察



虫こぶの中で快適に暮らしている
アブラムシ



アトリエで植物図鑑づくり



摘んだ葉と観察メモをもとに
スケッチを描きます



イヌビワについて、1 ページ完成



プログラム後の懇談会

● 講師プロフィール

清右衛門 (せいえもん) (造園家・樹木医)

千葉大学園芸学部卒。森林生態学を専攻し、山中をうろつきながら森の研究に明け暮れる。現在は自然を生かした庭園や公園作りを手がけるかたわら、シェアアトリエハウス『北鎌倉たからの庭』を拠点に、自然の楽しさを伝えるワークショップ「みちくさ部」を開催。

芽吹きの新緑と土をイメージした
「抹茶ガトーショコラとチョコレートソース」



桜と新緑をイメージした
「桜シフォンケーキとピスタチオソース」